

【総会報告】

平成 27 年 4 月 17 日（金）水道橋グランドホテルにて第 37 回文京支部総会・記念講演・懇親会が開催されましたので内容を報告いたします。

●総会議事

18 時 30 分より来賓に文京区経済課長福澤氏、東京中小企業家同友会河原代表理事、杉並支部林支部長をお迎えし、中川氏の司会で第 37 回文京支部総会が開催されました。

議長に奥長氏が選任され、2014 年度活動報告、会計報告、監査報告に引き続き 2015 年度の役員推薦、活動方針予算提案を発議し、審議の結果すべての議案につき満場一致で承認されました。

決議の後、江口前支部長から支部長退任のご挨拶を頂きました。2 年間の支部長の重責ありがとうございました。

また、今回は総会から会外の 株式会社 icore 山中晃一氏が参加していただきました。

●記念講演

代表理事の河原氏より「同友会が私を変えた」という表題で記念講演をしていただきました。代表理事は 36 歳で創業し、バブル時期に倍々ゲームで売上高を伸ばしましたが、やがてバブルの崩壊とともに社員の不満が勃発し、社員を採用しても同数の退職者がでて破たん寸前まで追い込まれたそうです。

そこで職場解体を覚悟して、社員と一泊研修したことにより、家族意識が高まり社員の心をつかむ経営にシフトが始まりました。

そして、同友会で学んだ経営指針を作成し、経営理念を基礎とした経営にかじを切りだしました。経営指針を作成することにより「ブレない経営」が浸透し、どんな経営環境に置かれても、自社の理念のもとに決断・実行することができるというお話を聞かせていただきました。

「ブレない経営」は言うは易し行は難しで、頭では分かっているが現実が目の前に迫ってくるとどうしてもぶれてしまう私にとっては、心が痛い講義でしたが「ブレない経営」に邁進する勇気を頂きました。ありがとうございました。

●懇親会

記念講演に引き続いて夏目氏の司会で懇親会が行われました。新井新支部長の挨拶のあと林杉並支部支部長による乾杯が行われました。文京支部の懇親会はいつも和気あいあいの雰囲気の中で行われますが、今回も参加者との懇親と交流が充分行われ充実した懇親会となりました。

席上、東京同友会より江口前支部長から理事退任の表彰を頂きました。

また、総会から参加した山中氏が懇親会の席上、同友会に入会していただく決意を表明

していただきました。仲間が増えて同友会活動になお一層の力が湧いてきました。

最後に二木副支部長による締め、盛り上がった中で懇親会も終了いたしました。

皆さまのご協力により、第37回の総会等が無事終えられたことを心より感謝申し上げます。

【支部長抱負】

平成27年4月より江口支部長の後を引き継ぎ、新支部長に選任されました新井です。文京支部という歴史ある支部の運営を任せられ、まだ、責任感の重さとやりがいとが交錯しております。

アベノミクスの影響で大企業では利益の増大、賃金の上昇など良い影響が表れておりますが、中小企業ではこのような影響を受ける企業は少なく、むしろ景気が悪くなったという実感が経営者の間の実感となっております。

このような経営環境の中、中小企業同友会の同友会の目的である「よい会社」「よい経営者」「よい経営環境」を実現するために、魅力ある支部活動を通じて会員参加の向上を行い、活気のある支部を目指します。

活気ある支部にするためには、支部会員はもとより他支部及び会外の中小企業経営者が「参加してよかった。また参加したい。」と行っていただけるような例会企画を充実させることにより、他の行事も積極的に参加してもらえる「場」を創ることです。

文京支部の個性を生かした「場」を提供することにより、会員同士の交流が盛んとなり、楽しいながらも切磋琢磨できる環境の構築を行う所存ですので、支部会員の皆様はもとより、東京同友会の皆様の温かいご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。